

第3回臨時会

第3回臨時会が5月2日に開催され、条例改正ほか2件の議案と承認2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

- ・審議した議案
- ・町長行政報告

第3回臨時会 5月2日開催

審議した議案

条例

□佐呂間町税条例の一部を改正する条例制定について
 地方税法の一部改正に伴い、佐呂間町税条例の一部を改正するものです。

改正の内容は、①個人町民税における肉牛売却の課税特例延長、②法人町民税の税率引下げ、③軽自動車税の税額引上げなどとなっています。

その他

□損害賠償の額の決定について

公用車の事故により町が行う2件の損害賠償の額が決定となりました。

損害賠償①
 損害賠償の額

1,008万7,846円

・損害賠償の相手方

遠軽町2条通北7丁目

奥山輝久氏

損害賠償②

損害賠償の額 15万円

・損害賠償の相手方

北見市高米西町6丁目

藤原聖子氏

□専決処分の承認を求めることについて

平成25年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分について承認しました。

予算の総額は、1億2,920万円が追加され、51億9,739万円になりました。

【主な歳入】
 ・特別交付税

1億2,883万円

【主な歳出】

・北海道市町村備荒資金組合
 超過納付金積立金

1億3,200万円

平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分について承認しました。歳入歳出予算の総額に増減はありません。

町長行政報告

(要旨)

□クリニックさろまの運営について

本町の地域医療再編整備事業として町立診療所が4月1日に開設され、4月26日現在の利用状況は、入院19床に対して一般9人、療養8人の17人、外来の利用者は一日平均37人(開設日数22日、初診651人、再診112人、健診8人、予防接種45人)の患者数で、カルテを引き継いだとはいえ初診患者であり、基本データの作成、診察券発行、診療録作成が必要となり、通院患者の待ち時間が長く、院長も昼食時間が遅くなるなど、夜遅くまで通院患者のカルテ整理等が必要な状況にあります。

こうしたことから、町の希望として早期に常勤医師2名体制を確立していただくよう申し出ており、恵尚会でも医師の確保に尽力するとの回答

を得ているところであります。5月1日から毎週木曜日に出張医の診療とすることで、院長にはカルテ整理や意見書作成など事務作業日として負担軽減を図るとの報告がありました。

現状では、開院から3カ月経過する6月には初診患者がひと段落する予定で、その間は医療環境を大きく変える過程であるとはいえ、待ち時間が長くなることや受付が制限される状況ですが、私は当初院長に本町の患者の多くは主治医との対話を望んでおり、回復の鍵はここにかかっているということをお願いした経緯があり、この方向に進んでいることもご理解いただきたいと思います。



寒い中、多くの出席者を得て行われた開設式

議会ニュース

・ 常任委員会現地調査

常任委員会

現地調査を実施

総務福祉
常任委員会

6月3日総務福祉常任委員
会終了後、現地調査を実施し
ました。

現地調査箇所

- ・ サンガーデンさろま
- ・ 特別養護老人ホーム



サンガーデンさろま

サンガーデンさろまは、平成11年度ケアハウスとして開設し、現在50床で運営されていますが、屋上防水の劣化から、防水工事が行われ施設の延命化、入居環境の充実が図られています。

なお、ケアハウスの5月末待機者は43名で、デイサービスセンターの利用者は減少傾向にあることです。



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームは、昭和50年に開設され、施設の維持管理、運営が図られています。最近では経年劣化から水回りや暖房配管・ボイラーなどが改修され、また、本年度は屋上防水工事やリフト車の更新が予定されているところです。しかし、近年の猛暑から入居者の体調などの安心を考えると、静養室とは別にエアコンの設置を考える必要があるのではないかと感じました。

産業文教

常任委員会

6月4日産業文教常任委員
会終了後、現地調査を実施し
ました。

現地調査箇所

- ・ 農地台帳地図化システム
- ・ 物産館みのり・道の駅
- ・ 富士土漁港及び佐呂間漁業協同組合排水処理施設

農地台帳地図化システムは、農地地図・台帳がデータ・システム化され、利用状況の把握や利用集積計画の作成など、業務の効率化が期待されるものです。



農地台帳地図化システム

物産館みのり・道の駅は、昨年度暖房機取替、女子トイレの洋式化などが実施され、施設を訪れた観光客に快適な町の情報発信拠点として整備

されてきました。



経済交流協定を結んだ宮崎県都農町の物産品が並ぶ「みのり」

富士土漁港は、計画的に整備されているとともに、佐呂間漁協の排水処理施設は、老朽化や処理能力の不足から本年度新しい施設が建設予定となっており、サロマ湖への環境負荷の軽減、水産加工品の安定供給が図られるものと期待しています。



今年度施工予定の排水処理施設建設予定地